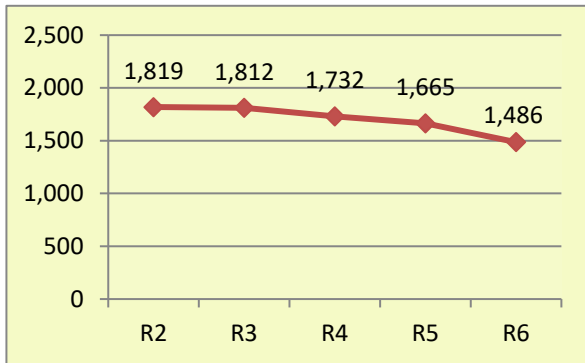


インターネット利用に起因する犯罪被害等の実態(令和6年)

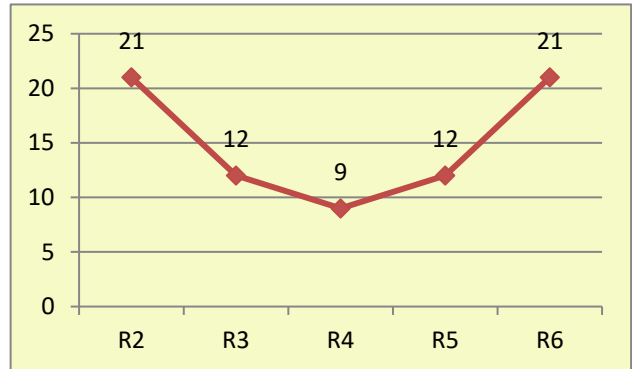
SNSに起因する事犯の被害状況

① 被害児童数の推移

(全国)



(県内)

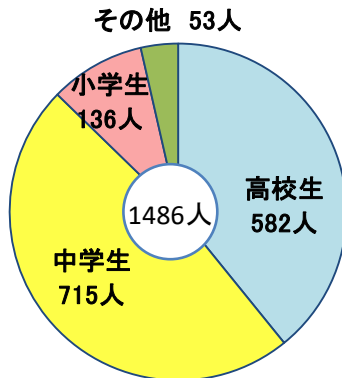


チェックポイント!!

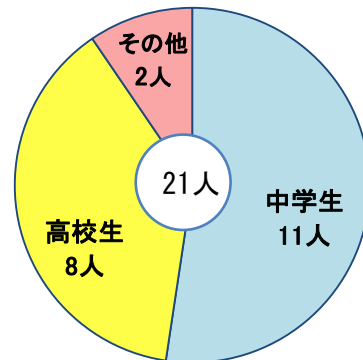
全国の被害児童数は減少傾向ですが、県内の被害児童数は令和5年から増加に転じています。これらの数は何らかのきっかけで表面化し事件となった被害児童の数であり、実際にはもっと多くの被害児童が潜在しているものと考えられます。

② 学職別の被害児童数(令和6年)

(全国)



(県内)

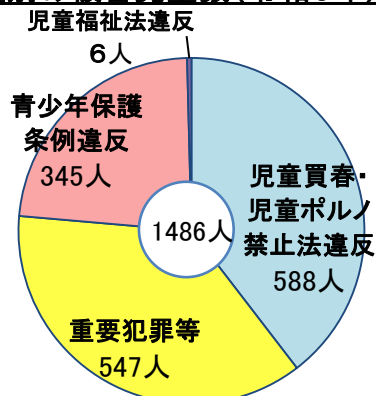


チェックポイント!!

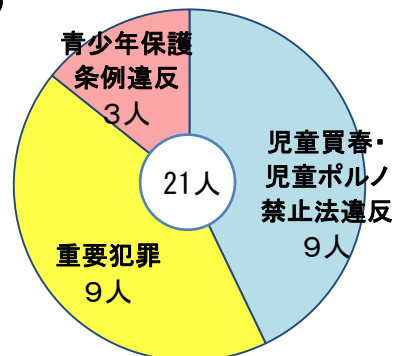
全国、県内ともに約9割を**中・高校生**が占めています。

③ 罪種別の被害児童数(令和6年)

(全国)



(県内)



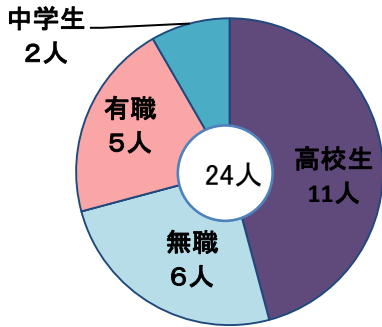
チェックポイント!!

※「重要犯罪等」は殺人・強盗・不同意性交等・略取誘拐・面会要求等・性的姿態撮影等処罰法など。

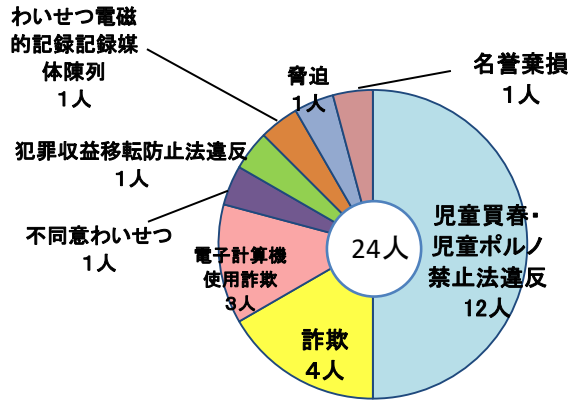
全国では、**児童買春・児童ポルノ禁止法違反**の割合が最も高く、全体の約4割を占め、次いで重要犯罪等となっています。県内では、**児童買春・児童ポルノ禁止法違反**や**重要犯罪**の被害に遭っている児童が約9割を占めています。

インターネットを利用した少年非行の現状(県内)

① 学職別の検挙人員(令和6年)



② 罪種別の検挙人員(令和6年)



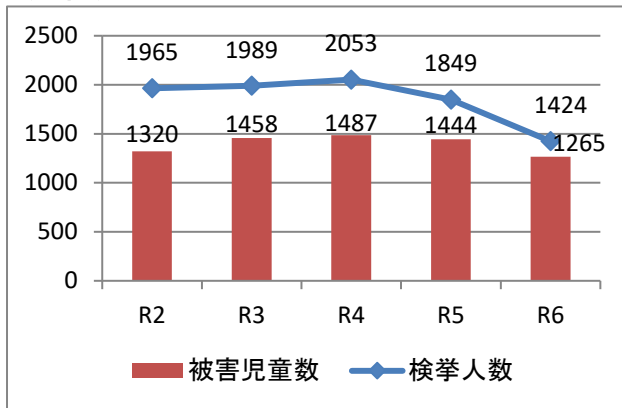
チェックポイント!!

学職別では、高校生が最も多く全体の4割強となっています。

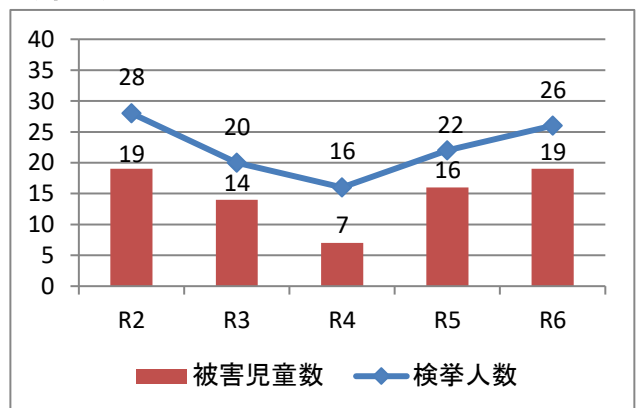
罪種別では、**児童買春・児童ポルノ禁止法違反**が最も多く、全体の半数を占めています。

児童ポルノ事件の実態(令和6年)

① 検挙人数・被害児童数の推移(全国)



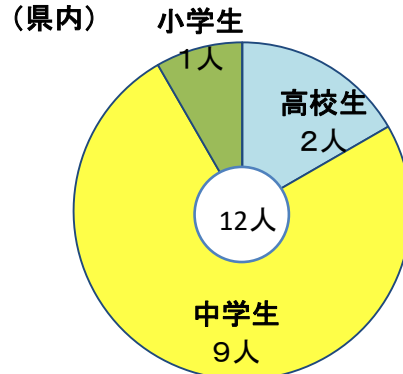
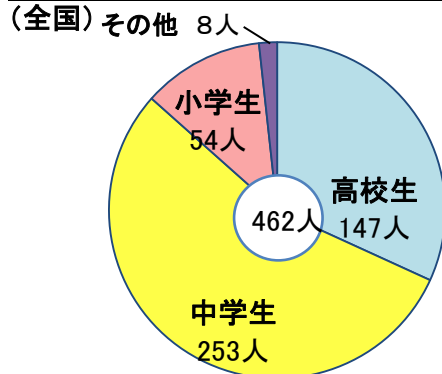
(県内)



チェックポイント!!

全国の被害児童数・検挙人員は前年から減少しましたが、県内はいずれも**増加**しています。

② 自撮りの被害児童数(令和6年)



チェックポイント!!

全国では被害児童の約半数を中学生が占め、高校生を含めると**約9割**になります。

県内では中学生の被害が大半を占めています。